

旭日双光章受章

議会運営や産業振興などに尽力

葛輪の植元敏光さんが旭日双光章を受章され、11月20日に長島町役場で川添町長から叙勲が伝達されました。

植元さんは平成3年5月から平成26年4月までの22年11カ月もの間、旧東町議会議員、長島町議会議員を務められました。この間、長島町議会議長などの要職を歴任し、円滑な議会運営に努め、町の産業振興、文化および福祉の向上に尽力されました。

植元さんは「身に余る光栄です。ここまでの間には、さまざまな人に協力をいただき感謝しております。今後も、自分のできる範囲で世の中の為に役に立てるよう努力していきたいです」と話されました。



↑受章された植元敏光さん（写真中央）と留美子夫人

文部科学大臣表彰受賞

教育行政に大きく貢献

蔵之元の田中順一郎さんが文部科学省の2015年度地方教育行政功労者文部科学大臣表彰を受賞され、11月13日、役場指江庁舎で川添町長から伝達されました。

この表彰は、地方教育行政においてその功労が特に大きかった人に贈られるものです。

田中さんは、平成11年10月から平成26年5月までの14年7カ月の間、旧長島町教育委員、長島町教育委員を歴任。このうち10年4カ月の間は教育委員長を務められ、本町の教育行政に大きく貢献されました。



↑川添町長から表彰を受ける田中氏

新長島黒之瀬戸風力発電所竣工式

東芝と九州大学で共同調査も

11月13日、新黒之瀬戸風力発電所の竣工式が山門野地区で行われました。

この施設は、東芝の完全子会社「シグマパワー ジャネックス」（福岡市）が運営するもので昨年の5月から工事を進めていました。

今回、1基あたり2,000 ㎾の風車が2基完成し、製造メーカーは国内初となる東芝製を搭載しています。

また、この発電施設では山や丘陵などの複雑な地形が生み出す風の「乱流」について、東芝と九州大学が共同で調査を行い、風の吹き方による影響を把握し、故障が少ない風車の開発を目指しているとのこと。



↑完成した風車は300種の計測機を搭載